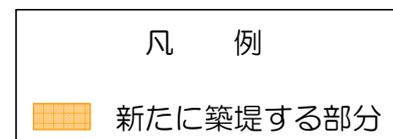
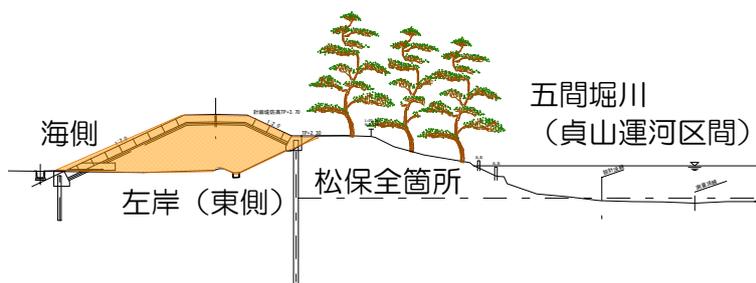


五間堀川（貞山運河区間）の松並木保全について

宮城県では、運河区間の復旧にあたり、平成25年5月に「貞山運河再生・復興ビジョン」を策定し、「地域にとって誇りある歴史的な運河群としての再生」を基本目標に復旧工事を進めております。

五間堀川（貞山運河区間）では、堤防のクロマツが壊滅的な被害を受けました。復旧工事の実施にあたり、阿武隈川に近い新浜橋から北側の約1.4km区間は、良好なクロマツが残っていることから保全することとし、松並木との一体的な水辺空間の再生を図ることとします。



松並木保全の方法

良好な状態のクロマツ(約200本)を保全するために、下記対策を行います。

- ・良好な状態のクロマツに、マツクイムシ対策を行います。
- ・幼木については、移植による保全を図ります。

なお、樹勢が落ち回復の見込みがないクロマツは、マツクイムシの被害を受けやすく、良好な状態のクロマツへの影響が懸念されるため、立ち枯れしているクロマツとともに伐採することとしております。